三豊教育
発行所
三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
TEL 0875-25-3761
http:/www.niji.jp
/ home/kazuo-t
/ mitoyosibu1

ホームグランド・座布団（主たる勤務地）は どのように決めているのか！　＝ 組合 ＝

「面接で本人の希望を聞いて決める。」－ 所長回答 －

六月十三日、香教組三豊支部（高嶋正三支部長）は、香教委西部教育事務所（末澤康彦所長）と、年度末人事異動による教職員の勤務条件改善と多忙化解消のための団体交渉をしました。

皆で多忙化を解消し、働きやすい職場づくりをすすめよう！

末澤所長

交渉する三豊支部代表　仲多度合同庁舎6、13

所長　人事異動の基本方針等に基づき、本人の事情等も考慮した上で、市町（学校組合）教育委員会の意見を聞きながら実施している。

組合　病気等の事情があり、強く留任を希望していた教員が異動させられ、異動先で病気が再発し困っている。このような現状を知っていたか？

所長　知らなかった。面接でも聞いていくし、異動後のことも把握するよう努めたい。

組合　本当に困っている人の希望は、その人の一生がかかっている。きちんと配慮して欲しい。

地域間交流人事・校種間交流人事・僻地人事など、勤務条件の大きく変わるすべての異動については、その基準を明らかにし、一ヶ月前に内示すること。

所長　人事異動の基本方針や人事異動の基本的な考え方に基づき、全県的な視野に立って実施している。人事異動の内容は、県教育委員会において議決後に公表している。

組合　勤務条件の大きく変わる人事異動はもちろんだが、以前のように内示制度自体を復活させて欲しい。

所長　転居（泊）を伴う人事異動については一週間前までにお知らせをするようにしている。（新規採用者についても同様）また、任命権者が変わる人事異動についても、もう少し早い段階で本人の意志確認をしている。

所長　平成24年度以降の新規採用者は、採用後10年間程度は、複数の勤務校において多様な経験を積み、資質向上に努めて欲しい。

労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関する基準について（抜粋）
①労働時間を適正に把握し、労働時間を適切に管理する義務を有する。
②使用者は、労働者の労働日ごとの始業・終業時刻を確認し、これを記録すること。
③使用者は、実態調査、残業時間の上限設定等、改善を指示すること。
（重大悪質な企業には「司法処分」で対処する。）　二〇〇一年四月六日　厚生労働省通知

《二〇一五年度末人事異動について》

本人の家庭の事情を考慮したきめ細かい人事をすること！

組合　個人面談の立ち合い人に地教委も加えること！

所長　市町（学校組合）教育委員会から要望があれば考慮したい。希望を校長に言って下さい。

組合　私たちの人事異動の希望をできるかぎり実現すること。

講師経験者を全員教諭採用すること！また、（三観の）定数内講師の数を明らかにすること。

所長　採用については、公正・公平に行う必要があり、今後も適格者の採用に努めていきたい。定数内講師の数は公表を考えていない。

《少人数学級について》

三〇人学級を実現し児童・生徒の教育条件を改善すること

組合　少人数学級編成の更なる拡充をお願いしたい。

所長　小学4年生までと中学1年生で三五人以下学級を実現している。小学5・6年生と中学2・3年生においては、少人数指導加配教員を活用した三五人以下学級を実現することも可能としている。

組合　今後、更に拡充して欲しい。

《学校訪問について》

職場の多忙化を解消するために学校訪問をすべての学校で半日日程にするなど簡素化すること！

所長　日程や内容等については、各学校が市町（学校組合）教育委員会の指導を受けて計画・立案している。西部教育事務所から指示をすることはない。

組合　公簿以外の書類（週案・教材研究ノート）の提出を求めないこと！

所長　西部教育事務所は、点検をしていない。

組合　授業参観や指導は希望者だけにすること。教科は指定しないこと。管理主事は授業を見ないこと。

所長　日程や内容等については、各学校が市町（学校組合）教育委員会の指導を受けて計画・立案している。

組合　学校訪問の授業などの評価を、勤勉手当にリンクさせないこと。

所長　リンクしていない。学校訪問は、学校の課題解決の観点から見せてもらっている。

教職員の健康を守るため、勤務時間を守り、多忙化を解消すること。当面、教員の空き時間を一日一時間は確保すること。

所長　多忙化解消については、市町（学校組合）教育委員会や校長に対し、会議や行事の見直し等による校務の効率化を図るとともに、一部の教員に過重負担がかからないよう校務分掌の適正化を図るよう指導している。多忙化解消（効率化）の取り組みを校

長会でも聞いている。

組合　もっと広めたり、紹介したりして欲しい。

所長　県教委のホームページにも載せている。

組合　現職で死亡する教員が増えているようだが、現職死の人数を教えて欲しい。

所長　西部管内では、平成27年度の小中学校（教育委員会は含まない）においては、3人である。

組合　県内では、8人と聞いている。これらの割合は高い。このような職種はない。改善策を具体的に講じて欲しい。

組合　定年前の早期退職者数は？

所長　平成27年度退職者の内で、早期退職者の割合は約45％である。

組合　この数字も高い。定年まで健康で安心して働ける環境改善をお願いしたい。

組合　昨年度、ある小学校でインフルエンザにかかった職員を勤務させた校長がいる。どう思うか。

所長　保健・安全の立場から適切ではないと考える。

組合　最近では、「ノー残業デー」を設定する学校もでてきており、多忙化解消に取り組む学校も増えている。しかし、ある小学校では「ノー残業デー」を設定し取り組んでいたにもかかわらず、学校訪問が近づいたら教頭が「ノー残業デー」を封印し、「好きなだけ仕事をして下さい。」などと手のひらを返すような発言をしたそうである。

所長　「・・・。」

組合　教頭の持ち時間を聞きたい。

所長　1人教頭が6時間以上、2人教頭が18時間以上持つよう指導している。

インフルエンザにかかった教職員を勤務させた校長をどのように思うか！

＝ 組合 ＝

「適切ではないと考える。」－所長回答－

平成２８年度 役員及び執行委員
香教組三豊支部定期大会にて（2016.4.9）

定期大会や支部集会が開催される
三豊教育会館（観音寺自動車学校前）

なくそう！ 核兵器！
原水爆禁止国民平和大行進
（愛媛県境余木崎、2016.5.22）

色えんつぴ

管理職評価!?

○昨年（平成27年度）2月頃、インフルエンザが大流行し、私の職場でも学級閉鎖が実施されたり、職員も感染し休みを取得する事態となった。

○ある小学校でも職員が体調を崩し、医者にかかりインフルエンザの診断を受けた。しかし、なんと連絡を受けた校長は（診断を受けた教員が6年生の担任であり、約1ヶ月後に卒業式を控えているということからか）「（児童には内緒で）休まずに勤務して下さい・・・。」などと指示を出し、その教員は結局勤務を続けたのである。その後、この事態を知った職員たちは「こんなことがあっていいのか、もっと職員の健康を気遣って欲しい。」などと噂をした。また、感染した教員が勤務したことが原因であるかどうか分からないが、その後、6年生の数多くの児童がインフルエンザにかかり出席停止となった様である。この事実については、当人（校長）及び関係各機関は充分に反省をし、以後このような失敗を絶対に繰り返すことがないよう肝に銘じるべきである。

○今年の三観中研のスタートは、昨年までと日程が変更され、戸惑う面もたくさんあった。この話はさておき、ある教科の部会で担当校長が部員に対して研究会の案内状!?なるものをいきなり配布した。部員たちは、それが強制なのか、任意なのか、皆分からないでいると、気を利かせた部員が「これは強制なのかどちらですか？」と尋ね、任意であることが判明した。校長が任意のプリントをいきなり配布することは問題ではないか。また、配布の仕方にも充分な配慮がなければならない。

○こんな話を聞いたことがある。校長になると、パフォーマンス（打ち上げ花火）がしたくてしたくてしょうがない人がいるようだ。例えば、研究の指定を受けて職員のお尻を叩くとか。研究会を引き受けて教員に研究授業を押しつけるとか。校内研修をやたら趣味のように多く取るとか。校長としてのこれだけやったという評価が欲しいのだろうか。自分は授業はしなくてよいから大きな気持ちでどんどん引き受けるのだろうか。「誰かが引き受けないといけないから引き受けた。」などというコメントはなんとなく信じ固い。引き受ける人の良さよりも、断る勇気も時には大事である。要らない研究会や指定は廃止して、皆で加重労働を軽減していきたいものである。現職死が更に増えてからでは遅い。

○ある小学校では、水曜日を「ノー残業デー」と定め、教頭が「今日は、ノー残業デーです。早めに帰宅しましょう。」などと呼び掛けていた。しかし、学校訪問の3週間前から「訪問が終わるまで、ノー残業デーは、封印します。好きなだけ仕事をして下さい。」などと一瞬で手のひらを返したそうである。今までのあの言動はポーズだったのか。パフォーマンスだったのか？

○今年の修学旅行は熊本の震災でキャンセルや延期が相次いだ。内容を変更した学校の中に、どう考えてもこれはどこかの会社の慰安旅行ではないのかなどと思えてしまうような旅行内容があるようで噂をよんでいる。

○運動会を終えた学校も多いが、ある中学校では老朽化した脚立（はしご）を使い、毎年、万国旗吊るしの作業は命がけでやっているようである。今年、校長がその様子をようやく知ったようであり、新しい脚立を買ってくれるのかなと期待しているが、ただ、ある小学校では万国旗吊るしの作業でケガ人が出ているが、とパフォーマンスとでは当然命が大切である。

○ある中学校の校長は、4月の時間割編成作業に休日に参加する教員に対して、「きちんと割り振りを取って下さいね・・・。」などと配慮をしてくれたそうである。

○ある中学校では、代理で出張に行く教員が校長に、「申し訳ないが、大変だけどお願いします・・・。」などと丁寧にお願いされたそうである。

○管理職の単なるパフォーマンスはすぐに剥がれ落ちるが、管理職の心ある言動は必ず教員に伝わるものである。それが、居心地の良い職場づくりにつながるのである。